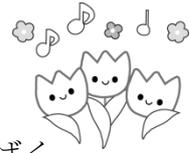




2015. 6月

ばく通信 No.7

特定非営利活動法人 発達障害児応援団 NPOばく



NPOばくの第7期総会が5月14日に行われました。賛助会員の皆様の温かいご援助や励ましのおかげで、ばくの運営も安定してきました。同時に、受け入れ人数を増やすことや、規模の拡大等のご要望も頂いています。ばくへの信頼の高さと受け止めております。

しかし、現在のスタッフの状況では規模の拡大は難しいように思います。そこで、スタッフは、静岡県、静岡市、藤枝市等で講演会の講師を引き受け、効果的な支援について情報発信しております。さらに、支援の輪が広がることを目指して、情報交換会を増やすことや若手の支援職を研修生として受け入れることにしました。情報交換会(勉強会)は3回

(7月、12月、3月) 予定しています。日程については、ホームページだけでなく、連絡網等でお知らせしますので、ご連絡下さい。また、賛助会員の皆様のお役にたてるよう、検査道具や書籍の貸し出しも始めたいと思います。今後も、ばくの活動にご支援を賜りますよう、賛助会員の御継続、御加入をお願いします。

お知らせ：H27年度 第1回 情報交換会

日時：7月27日(月) 18時～19時

場所：ばく事務所

参加希望の方は7月22日(水)までに申し込んでください。終了後には懇親会も企画しておりますので、公共交通機関のご利用をお願いします。

- ▶ 平成26年度は実践論文が臨床発達心理実践研究12月号に掲載されました(「ASD児の自己コントロールに関わる支援」)。ご希望の方はお申し出ください。

1. 今年度在籍 (H. 27年 6月現在)

・入室児

年長	1名	小学4年	9名	
小学1年	1名	5年	7名	
2年	2名	6年	7名	
3年	6名	中学生	3名	計 36名

・スタッフ

指導担当	12名	
相談担当	6名(指導兼任2名)	計 16名
その他運営協力者		
環境整備	1名	
会計	1名	

2. 活動報告

NPOを立ち上げて7年が経過し、支援を行った子ども達も111名になりました。ばくの指導の特徴は学習支援担当と相談担当がペアになって、本人への学習支援と保護者との相談を行っています。支援の実際について報告します。

♥ 学習支援担当から…集中の苦手なA君の指導の実際

4年生 「課題に集中する力を養う」

A児の得意な手作業のある課題を用意し、聞くトレーニングや、短時間集中トレーニングを行った。その結果、始めに自分で量を決めたり、プリント1枚等見通しが立てやすかったりすれば、5分程度なら集中して取り組むことができるようになってきた。

5年生 「集中力を高める」(集中のコントロール、集中時間を長くする)

本人と相談しながら何分で課題を行うか決め、取り組み、自分で評価した。また、勝手に話したり落書きをしたりせず、必ず指導者の承諾を得て行動することを徹底した。

学校でのルールの明確化とも連動し、ばくでも15分くらい、課題に集中して取り組めるようになった。また、本人自身が、気になる物を側に置かないことや、途中で休憩すること、最後に“お楽しみ”(絵を描く、パズルを作る等)をすると決めた方が集中できることがわかってきた。

6年生 「自分で集中できる方法を見つける」(自己理解)

学校でのルールがはっきりし、集中時間はより長くなった。途中で休憩をとらなくても、最後の“お楽しみ”を目標にがんばることができるようになってきた。「聞く」課題だけだと眠くなってしまふことに対して、作業をはさむと効果が上がることをわかってきた。

A児はなかなか効果があらわれない時が続いた(指導担当としても苦しい時期)。しかし、“学校—家庭—ばく”で目標を共有し、本児の良さを認め、毎回少しずつトレーニングを重ねることで、褒められることが増える⇔自分のことを理解することができてくる⇔自信を感じるということが好循環してきてきた。

♥ 相談担当から…“褒められる”ことが苦手な保護者へのメッセージ

相談担当は、保護者との話し合いや指導の観察等を通じて、お子さんにとって必要な支援は何かを整理しています。帰りの時間には、保護者にお子さんの頑張りを伝え、お子さんの自己肯定感を高めることを心がけています。ところが、褒められることに慣れていない(照れている?)お母さん(お父さん)は、お子さんの前で、否定的な言動をしてしまうことがあります。“褒め方”を身につけることが大切だとお伝えしています。

褒められることが受け入れられない背景には、「普通」「あたりまえ」という考え方も関係しているようです。「普通ってなんだろう」と問い直すことにおつきあいするのも相談担当の役割です。「普通」の枠組みをひろげると、子ども達の小さな変化が見えてきます。保護者が変化を喜べるようになる時期と子どもたちの笑顔がふえる時期は連動するように思います。とはいえ、いったん嬉しい気持ちになった後に、がっかりするというのもよくあること。山あり谷ありの子育てを、投げ出さずに一生懸命がんばっている保護者さん…大丈夫です。私たちは、かわいがられて育った子は、その子らしく輝く日が来ることを知っています。その日が来るように応援していきたいと思えます。

静岡県静岡市駿河区大和2丁目6番5号 東京堂ビル305号

電話・FAX: 054-266-5616 (火～金曜日 15時～19時30分)

振込先: 郵便口座番号 00810-6-134767 発達障害児応援団NPOばく

E-mail baku@orion.ocn.ne.jp

URL <http://www.npobaku.sakura.ne.jp/>